

あさくち 議会だより



ASAKUCHI



No.22

平成26年
6月定例会
平成26年8月1日発行

- ・ 6月定例会の主な議案 P2
- ・ 特別委員会 P4
- ・ 委員会レポート P5
- ・ 一般質問 P6

6月定例会は6月10日に招集され、
26日までの17日間の会期で開催しました。
一般質問には8人が登壇し、
市政運営を質しました。

6月定例会



一般会計補正予算6億 2,988 万円を可決

一般会計補正予算

補正後総額 147 億 4,088 万円 (対前年比 +14.2%)

○歳出の主なもの

事業名	内 容	金 額
定住促進事業	住宅地開発促進事業 「あさくち住マイルロード促進事業」 結婚推進事業「婚活プランナー事業」	3,016 万円
地域少子化対策強化事業	市内の若者の意識調査事業 出産・育児支援事業	238 万円
金光駅周辺整備事業	金光駅南北広場等整備に係る測量設計	2,416 万円
工業団地開発事業特別会計繰出金	工業団地造成経費を特別会計に繰出し	4 億円
寄島小学校教室改修事業	エアコン設置のため教室を改修	1,298 万円
天草公園体育館耐震診断事業	天草公園体育館の耐震診断調査	468 万円

特別会計・企業会計補正予算

工業団地開発事業に本格着手

会計名	主な内容	補 正 額
国民健康保険	社会保障・税番号制度 (マイナンバー制度) を導入	288 万円
後期高齢者医療		150 万円
介護保険		417 万円
公共下水道事業	小田川ポンプ場の雨水ポンプ増設	2,406 万円
工業団地開発事業	工業団地造成のため用地購入、家屋補償等	4 億 2,347 万円
水道事業	漏水調査の実施	399 万円

主な議案

条例

○機構改革に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

平成26年7月1日に行われた機構改革に伴う部課名等の名称変更など。なお、機構改革の主な内容は次のとおりです。

- ・都市計画課を「まちづくり課」に名称変更し、「定住促進係」を新設。
- ・子育て支援課を廃止し、教育委員会に「こども未来課」を新設し、保育所と幼稚園業務を一本化。
- ・教育委員会に「教育総務課」を新設。
- ・総務課の地域安全係を「防災安全係」に変え、危機管理担当参与を配置。
- ・協働推進課を「地域創造課」に名称変更。

・建設課に「建築営繕係」を新設。

○特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例及び教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正

市長、副市長、教育長の給料を1割減額するもの。期間は平成26年7月から平成27年3月まで。

契約

○工事請負契約の締結

市役所本庁舎耐震改修等工事について、2億1203万円で契約を締結するもの。

○工事請負契約の締結

学校給食センター本館棟建築工事について、5億2086万円で契約を締結するもの。

○工事請負契約の締結

学校給食センター本館棟電気設備工事について、1億7968万円で契約を締結するもの。

○財産の取得

小学校用タブレット端末352台と付属品を2686万円で購入するもの。

○財産の取得

中学校用タブレット端末380台と付属品を3505万円で購入するもの。

人事

○農業委員の推薦

議会推薦の農業委員会委員に4人の議員を推薦しました。

岡邊正継 加藤淳二
大西恒夫 香取良勝

○人権擁護委員の推薦意見

生口清美氏を人権擁護委員として適任としました。任期は平成26年10月から3年間。

議案に対する賛否

6月定例会で審議した議案に対する各議員の賛否は次のとおりです。

議案名	議員名	会派名										議決結果					
		浅政会					政和会		無党派								
		田口桂一郎(議長)	大西洋平	中西美治	原彰	伊澤襄二	井上邦男	藤澤健	香取良勝	大西恒夫	青木光朗	加藤淳二	桑野和夫	岡邊正継	竹本幸久	佐藤正人	福田玄
推薦第1号	浅口市農業委員会委員の推薦																
発議第5号	広報特別委員会の設置																
発議第6号	都市計画調査特別委員会の設置																
発議第7号	核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書																
承認第6号	専決処分した事件の承認(和解)																
議案第26号	機構改革に伴う関係条例の整備に関する条例の制定																
議案第27号	浅口市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例及び浅口市教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正																
議案第28号	浅口市子ども医療費給付条例の一部改正																
議案第29号	浅口市ひとり親家庭等医療費給付条例の一部改正																
議案第30号	浅口市心身障害者医療費給付条例の一部改正																
議案第31号	浅口市営住宅条例の一部改正																
議案第32号	工事請負契約の締結																
議案第33号	工事請負契約の締結																
議案第34号	工事請負契約の締結																
議案第35号	工事協定の締結																
議案第36号	財産の取得																
議案第37号	平成26年度浅口市一般会計補正予算(第1号)																
議案第38号	平成26年度浅口市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)																
議案第39号	平成26年度浅口市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)																
議案第40号	平成26年度浅口市介護保険特別会計補正予算(第1号)																
議案第41号	平成26年度浅口市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)																
議案第42号	平成26年度浅口市工業団地開発事業特別会計補正予算(第1号)																
議案第43号	平成26年度浅口市水道事業会計補正予算(第1号)																
議案第44号	財産の取得について																
議案第45号	和解及び損害賠償額の決定について																
陳情第2号	日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める陳情																
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて																

○ 賛成、× 賛成でない、「」 不参加、「欠」 欠席

※議長は採決に加わりません。

特別委員会

特に必要と認める案件を調査または審査するため、議会は特別委員会を設置することができます。

広報特別委員会



副委員長
伊澤 誠



委員長
平田 襄二



桑野 和夫



佐藤 正人



福田 玄



大西 洋平



大西 恒夫



中西 美治

都市計画調査特別委員会



副委員長
竹本 幸久



委員長
香取 良勝



平田 襄二



佐藤 正人



福田 玄



青木 光朗



藤澤 健



桑野 和夫

都市計画区域の再編を調査

○都市計画調査特別委員会

浅口市では旧町間で属する都市計画区域が異なっています。

- ・金光町域（岡山県南広域都市計画区域）
- ・鴨方町域（鴨方都市計画区域）
- ・寄島町域（都市計画区域外）

金光町域では市街化区域と市街化調整区域の2つに区分する区域区分（線引き）がある一方、鴨方町域・寄島町域では区域区分がありません。結果として、金光町域の市街化区域内にある農地の固定資産税評価額が他と比較して高くなっていることなど、差が生じています。

市では、都市計画区域の再編を含めた一体的なまちづくりを進めるため、調整を続けていますが、他の自治体との協議も必要なことから、難しい問題となっています。

議会としても、この問題を調査研究し、必要な提言を行うため、全会一致で「都市計画調査特別委員会」を設置しました。

議会だよりの発行を決定

○広報特別委員会

議会の活動状況や審議内容を広く市民にお知らせするため、議会だよりの編集・発行を行う「広報特別委員会」を設置しました。

所管施設等の視察調査を実施

総務文教 常任委員会

○5月21日

・金光吉備小学校

耐震補強事業が完了した校舎とタブレット端末を活用した授業を視察しました。

授業では、タブレット端末を使ってプロジェクトターに映し出す方法で授業を進めていました。短時間で多くの子どもたちの答えも共有できるなど利点があります。

タブレット端末の活用方法について十分に研究し、子どもたちのためにより効果的な活用をして

ほしいと要望しました。耐震補強事業が完了した校舎では国の基準値を示すIs値0.7を上まわる0.86〜0.94となりました。



タブレット端末を活用した授業

・鴨方中学校

耐震補強工事が完了した箇所と、調査により新たに耐震補強工事が必要となった箇所を視察しました。

耐震補強工事の完了後のIs値は0.73〜0.97となり、基準を満たしていました。

民生 常任委員会

○5月22日

・敬親かもがた保育園

園長から保育の状況や施設の概要について、説明を受けました。園庭や教室で元気に遊ぶ園児の姿や保育の状況も視察しました。



敬親かもがた保育園

・金光一般廃棄物最終処分場

担当職員より、ごみの搬入量の推移や、最終処分場の構造や浸出水の処理施設など管理状況について説明を受けました。

平成25年度末までの埋立量は6394m³で、全体量の約16%でした。



金光一般廃棄物最終処分場

産業建設 常任委員会

○5月23日

・鴨方浄化センター

污水处理施設の運営状況を視察しました。施設の処理能力や汚水処理の方法などについて説明を受けました。

・国道2号バイパス
工事が順調に進んでいることなど説明を受け、金光町佐方地区から鴨方町六条院東地区までを車で走行し、工事の進捗状況を確認しました。



国道2号バイパス工事現場
(金光町佐方)

・寄島漁港周辺の陸
堤防

津波・高潮発生時に備えるための施設を視察しました。陸閘(防潮堤閉ゲート)の設置状況や、災害発生時の開閉方法など、説明を受けました。



防潮堤開閉ゲート



佐藤 正人

質問項目

- 定住促進の方向性について
- 工業団地整備事業と企業誘致について
- 東京アンテナショップへの売り込みについて
- ロタウイルスワクチン接種への助成について

定住促進の方向性は

問 定住促進策は待ったなしの状況です。今後の方策は。

答 7月の機構改革で定住促進係を新設する。また、市長を本部長とする定住促進本部を設置し、「あさくち住マイルプロジェクト」として集約し、定住促進につながる施策を進めていきたい。

工業団地整備と企業誘致

問 工業団地整備事業第1期工事（A地区）は計画通りに進んでいるか。また今後の予定は。

答 地質調査や地形測量など詳細設計に必要な業務は平成25年度に概ね完了した。現在、開発許可等の許認可について関係機関と協議している。今年の早い時期に造成計画などについて地元説明会を開催し、本年度中の用地買収を目指したい。

問 A地区の企業誘致の見通しは。県南へ進出を希望する企業は

多く、岡山県にも問い合わせがある。トップセールスにより積極的な誘致活動を行いたい。

東京アンテナショップへ売り込みを

問 岡山・鳥取両県による首都圏アンテナショップが開設される。市内業者に出品依頼など働きかけをしているか。PR策はあるか。

答 市のホームページに案内を掲載し、商工会に周知依頼するなど関係団体と連携して取り組んでいきたい。

ロタウイルスワクチン接種に助成制度を

問 ロタウイルス胃腸炎にかかると高熱・激しい嘔吐・下痢症状が出る。公費助成を取り入れたい。

答 まだ、国に定期の予防接種として認められていない。国の動向を見守り、認定された時点で検討したい。



原 彰

質問項目

- 認知症による行方不明対策について
- 市営バス「ふれあい号」の今後について

認知症による行方不明対策は

問 全国における行方不明者が1万人を超えており、非常に大きな社会問題となっている。対策はどうか。

答 浅口・里庄の介護事業所が協力し認知症の行方不明者を見出す「浅口みつけてネット」に浅口市も加入している。警察にも同様の「お年寄りSOSネットワークシステム」があり、互いに情報を共有し、行方不明者の早期発見と保護に努めている。

問 行方不明対策の精度をさらに高め、先進地域も参考に、浅口市独自の対策も作ってほしい。

答 さらなる研究を進め、万全の対策を取りたい。

「浅口ふれあい号」の後は

問 今後高齢化が進み、市営バスの重要性がますます大きくなる。時刻表や利用ガイドブックをわかりやすくすれば、利用者も増えていくのではないか。今後の方針は。

答 アンケートの結果でも60歳以上の利用者が多い。ガイドブックの字を大きくしたり、時刻表の掲示箇所を増やすなど、随時見直していきたい。地域の要望など利用状況の分析も継続して行い、十分反映していきたい。

問 車高が高く、高齢者が乗りにくいという声を聴く。高齢者が利用しやすい低床型などの乗りやすい車を採用してどうか。

答 低床バスは大きいバスしかなく、今のルートは走れない。ステップが整備されている車もあるが、足に当たるなど事故につながる恐れもあり、導入していかない。代わりに手すりをつけるなど対応している。



大西 恒夫

質問項目

- 「日本一挨拶の町」の公約推進について
- 教育委員会分室について
- 道路の危険箇所について
- 金光地区の受水先の変更について

「日本一挨拶の町」へ

問 「日本一挨拶の町」にしてほしいと要望したところ前向きな答弁があった。その後具体的な取り組みは。

答 以前から市内の小中学校でいさつ運動をしている。市役所内でも幹部会を通じていさつ運動を徹底している。子どもたちや地域の皆さんから自然にいさつが出る地域にしたい。

教育委員会分室の必要性は

問 教育委員会の分室が金光、寄島に設置されている。本当に必要か。

答 分室を縮小・廃止した場合、市民サービスの低下は避けられない。しかし、行政の効率化の観点から議会・市民の意見を聞きながら検討すべきと考えている。

水道事業の統一について

問 金光地区の水道の受水先を西南水道企業団に統一する方針が示されているが、市と企業団の年間の利益はいくらになるのか。

答 西南水道企業団に統一すると年間約2千万円の経費節減が見込める。西南水道企業団ではまだ利益としての計算はできていない。初期投資で7億から8億円かかり、慎重な判断が必要である。

問 金光の受水が始まると西南水道企業団の単価が下がる。一般財源から出している2千万円と合わせ、5千万から8千万になると思う。初期投資にも消費税がかかる。できるだけ早く進めてほしい。

答 この協議には笠岡市、里庄町、西南水道企業団との合意が必要である。水利権譲渡の問題や工事費の問題等も絡んでおり、一生懸命協議をしている。



桑野 和夫

質問項目

- 医療・介護の改悪など社会保障解体について
- 子ども医療費の助成制度の拡充について
- 国民健康保険税の引き下げについて
- ごみの戸別収集について
- 病児保育について

社会保障解体政策への見解は

問 社会保障の大規模な給付減と負担増が行われようとしており、市民も影響を受ける。市長の見解は。

答 これまで国民の皆様が慣れ親しんだ現行の介護制度の維持こそが、今最も重要と考えている。

国保引き下げを

問 国保税が高くて払えないという声をよく聴く。国保特別会計に市が独自に法定外繰り入れをし、国保税を下げしてほしい。

答 国保の財源は法律に基づく補助金や一般会計からの繰入金等を除いた残りを保険税で賄うことが原則です。今後財政運営が厳しさを増すことから、法定外繰り入れは困難だ。

問 国保税を滞納した場合、医療費が一旦全額自己負担になる資格証明書の発行を中止してほしい。

答 税負担の公平性を保つことは重要だ。滞納額を減少させ、国

保財政を安定的に運営するため、実施していきたい。

ごみの戸別収集の実施を

問 一人暮らしの高齢者や障害のある人にとってごみ出しは大変な作業だ。一般廃棄物処理基本計画の中に「ごみの戸別収集など新たな排出手段を検討する」とある。早急に実施してほしい。

答 高齢者支え合いサポーター事業の支援サービスにごみ出しの業務がある。この状況を見ながら、適切な時期に検討していきたい。

病児保育の実施を

問 病児保育の現状は。市独自が困難であれば、近隣自治体と連携して実施してはどうか。

答 病児保育は医療機関に併設された施設での実施が望ましい。他市の施設は市内優先で市外の利用料は倍となる。今後も病院等の施設にお願いしていく。



伊澤 誠

質問項目

- 通級指導教室の充実について

通級指導教室の充実を

問 LD(学習障害)、ADHD(注意欠陥・多動性障害)、アスペルガー症候群などの軽度発達障害のある児童・生徒に対し、各教科などの指導は通常の学校に在籍して行いながら、障害の改善、克服、自立活動などのために特別に設置する「通級指導教室」について、当市の現状は。

答 言語障害の通級指導教室「ことばの教室」が金光小学校に開設されていて、現在浅口・里庄の児童38名が利用している。

問 通級指導教室での指導は小・中学校と継続した指導が必要ですか。早期に効果的な支援が求められる障害の多様化に対応した障害児教育に対し、今後どのように取り組むのか。

答 当市では言語障害のみでの設置だが、教育の方法で重複の障害の対応にも取り組んでいる。市内のニーズを把握することと合わせ、研究していきたい。



ことばの教室 (金光小学校)

特別支援教育の充実を図るため、各学校・園に配置している支援員と教師が障害の特性などを共有して一貫した支援を行えるようにしたい。県総合教育センター等の関係機関と連携し、教師や指導員の指導力の向上を進めていきたい。学校・園と連携を密にして園児・児童・生徒の実態を把握し、ケースに応じて適切な支援・指導を行ってきたい。

ごみ収集について

問 ごみ収集業務を5年間で委託している。寄島町の燃えるごみの収集回数も週2回になりました。十分直営でやれると思う。委託する前に直営でできるかどうか検討したか。

答 また、5年契約となっているが、業者の緊張感、使命感も薄れ、市民サービスの低下にもつながる危惧もある。契約の仕方など直営も含め考えるつもりはないか。

答 全体的に経費が少なくて済むというメリットがある民間委託をした。契約の方法は一般競争入札で最低金額を提示した業者と契約している。車両の購入等もあり、5年契約をしている。直営は難しい問題が多いと思う。



岡邊 正継

質問項目

- ごみ収集について
- 全国学力テストについて

学力テストの方針は

問 岡山県は学力で3年以内に10位以内を目指す方針です。学力向上、不登校児童の解消に成果を上げた小中学校に原則100万円の奨励費を出す「頑張る学校応援事業」について教育長のお考えは。

答 また、全国学力テストの成績の公表について、賛否両論あるが、教育長のお考えは。

答 「頑張る学校応援事業」については県で要綱を作成中で、まだ手元に届いていない。要綱を見て、教育委員会でも検討していきたい。

学力テストの結果については、各学校で分析し、苦手なところを補ったり、得意なところを伸ばすことに引き続き役立てたい。序列化、過度の競争などを生じないように結果の説明の方法を教育委員や校長会の意見も参考に分かりやすく説明していきたい。

全国市議会議長会総会に出席



5月28日、東京・日比谷公会堂において第90回全国市議会議長会定期総会が開催され、田口議長が出席しました。

総会には全国813市区のうち、765市区の議長が参加し、各地方部会から提出のあった国への要望や予算案などを審議しました。

続いて、5月30日には、市議会議長がそろって皇居・豊明殿へ参殿し、天皇陛下に拝謁しました。

天皇陛下より「今後とも市民の幸せと地域の発展のために力を尽くされるよう願っています。」とお言葉を賜りました。

議員表彰

全国市議会議長会総会において次の議員が表彰を受けました。

○議員一般表彰

(10年以上市議会議員の職にあるもの)

岡邊 正継 議員
青木 光朗 議員

※在職年数の計算は、合併前の町議会議員としての勤続年数の半分が加算されます。

表紙写真

鴨方駅の北口に凛々しく立つ老松は、戦前から鴨方駅での出会いや別れを見守り続けてきました。

鴨方駅の橋上化により現在の位置に移植された当時は元気がなく、枯死する心配もありました。しかし、関係者の努力と驚異の生命力で今では元気になりました。

これからも鴨方駅を利用する多くの人々を見守り続けてくれることでしょう。

ご意見・ご感想をお聞かせください！

広報特別委員会では、議会だよりについて、市民の皆さんのご意見・ご感想をいただき、次回以降の作成の参考にしたいと考えています。

右記のあて先まで、ご意見・ご感想をお寄せください。

あて先

浅口市議会事務局

〒719-0295 浅口市鴨方町六条院中 3050
電話/FAX 0865-44-7010
Eメール gikai@city.asakuchi.lg.jp

声の議会だより

目の不自由な方にも議会の内容をお知らせするため、浅口はるか会のご協力により議会だよりを音読しています。

(詳しくは議会事務局まで)

編集後記

6月定例会で広報特別委員会を設置され、新しい委員で広報誌を発行することになりました。

市議会は、積極的な情報公開を推進し、市民の皆様に関われた議会となるため努力しています。

市民の皆様は、読みやすい広報誌を届けるため、委員一同が努力いたしますので、今後ともご理解ご協力をお願いいたします。

広報特別委員会

委員長 平田襄二
副委員長 伊澤 誠
委員 福田 玄 佐藤正人
桑野和夫 中西美治
大西恒夫 大西洋平



議会だよりは再生紙を使用しています